

2020年度スポーツ医療学科卒業研究発表会講評

今年の卒業研究発表会はコロナウイルスによる緊急事態宣言下で開催されましたが、5名の学生さんがそれぞれ個性豊かな発表を行い、また多くの先生方にもご参加いただいて活発な議論が交わされ、実り豊かな会となりました。まずもって緊急事態宣言下での様々な制約を乗り越えて発表までこぎつけられた学生の皆さんの並々な情熱と努力、そして指導をしていただきました先生方のご苦勞と熱意に対しまして心よりの敬意と称賛をお送りしたいと思います。

また、昨年までの研究発表は主にスポーツ医療学科をベースにしたものが中心でしたが、今回はスポーツ医科学センターの先生方にも複数ご尽力いただき、また、スポーツ医科学センターの施設を利用させていただいた研究もあり、医科学センターの関係者の皆様に対しましてこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

スポーツ医療学科は2007年発足以来、すでに14年を経過しておりますが、2021年4月より、大学院スポーツ健康科学専攻を新たに開設する運びとなり、新しい時代を迎えることとなります。本専攻の基盤はスポーツ医療学科健康スポーツコースとトップアスリートコースですが、この二つのコースとともに先ほどご紹介いたしましたスポーツ医科学センターの全面的協力も得て運営されることとなり、最新鋭の施設と設備、スタッフの下、これまで以上に高度な研究に取り組むこととなります。今回の発表者のうち数名の方が本専攻大学院に進むこととなりますが、さらに研鑽を重ねられて2年後の修士論文につながっていただければと思います。また、3月で卒業される学生の皆さんも、今回の研究をさらに継続していただき、機会があれば本学大学院スポーツ健康科学専攻で新たなチャレンジをしていただければと思います。

学生の皆さんは今回の経験を通して、研究の大変さとともに面白さや魅力を感じていただけたのではないかと思います。願わくば今の新鮮な気持ちを卒業後も持ち続け、常に問題意識をもって職務に邁進していただき、目の前の問題解決に向けて精力的に取り組んでいただければと思います。そして、そのことの積み重ねこそがよりよい明日とよりよい未来を実現する基盤であることをご認識いただき、日々精進を重ね成長して行ってください。

今後の皆様の更なるご発展とご活躍を心より祈念して講評のご挨拶とさせていただきます。

2021年2月15日

帝京大学医療技術学部スポーツ医療学科長 清水正典